



答えはこちらから

山や崖、川や水路には

大雨が降ったら
場所に身を寄せる

地震が起ったら

①すぐに

②大きな声で

知らない人がついてきたり、連れていかれそうになったら...

誰もが入りやすく、誰からも見えにくい場所には



防災



防犯



交通安全

車や自転車が来ていないかを
左右の道を
道路の手前で
飛び出さないためには

3 自分の安全を守る方法を
身に付けよう！

どうすれば安全に
登校(生活)できるかな？

1 校区の危険箇所を知ろう

地震や大雨が発生したときに、状況が変わりやすい場所

大雨

地震

たとえば...

- 古びていたり、高さのあるブロッコリーの側
- 古く、手入れがなされていない住宅の側
- 崖の近く
- 河川敷や水路沿い

たとえば...

- 人通りの少ない道路やトンネル
- 人気のない、外から見えにくい公園や公衆トイレ
- 落書きやゴミがそのままにされている場所
- 空き家と思われる住宅

たとえば...

- ブロッコリーや自動販売機、草木などがあり、見通しが悪い交差点
- 信号機のない横断歩道
- 歩道がない道路、お店や駐車場沿いの道路
- 車と車の間

1 校区の危険箇所を知ろう

校区安全マップの使い方

考えてみよう！～高学年のみなさんへ～

1, 2, 3年生は家の人と一緒に考えてみよう。

Q1 次の文章の内容が正しいものには○、正しくないものには×をつけましょう。

1. 自転車は、原則、車道の左側を通ることがルールで決められている。	
2. 小学生が自転車を運転するときは、車道を通らなければならない。	
3. 自転車の運転に自信のある人は、ヘルメットを着用する必要はない。	
4. 交通事故の原因で1番多いのは「飛び出し」である。	

Q2 交通事故にあわないようにするためには、あなたはどのようなことに気を付けますか。

※たかつき安全NOTE (小学校4, 5, 6年用) P.36、42、43を参考に考えてみよう。

校区安全マップ

高槻市立郡家小学校

年 組

セーフティボランティアさん

通学路や校門のちかくで、みんなが安全に学校に通えるよう見守ってくれています。緑のベストや腕章が目印だよ。

「こども見守り中」の旗

みんなを見守ってくれている人が、街中にいることを知らせてくれています。たくさんの人に旗を掲示してもらえたら、地域の安全安心にもつながるね。

考えてみよう！～高学年のみなさんへ～

1, 2, 3年生は家の人と一緒に考えてみよう。

Q1 次の文章の内容が正しいものには○、正しくないものには×をつけましょう。

1. 自転車は、原則、車道の左側を通ることがルールで決められている。	
2. 小学生が自転車を運転するときは、車道を通らなければならない。	
3. 自転車の運転に自信のある人は、ヘルメットを着用する必要はない。	
4. 交通事故の原因で1番多いのは「飛び出し」である。	

Q2 交通事故にあわないようにするためには、あなたはどのようなことに気を付けますか。

※たかつき安全NOTE (小学校4, 5, 6年用) P.36、42、43を参考に考えてみよう。

校区安全マップ

高槻市立郡家小学校

年 組

セーフティボランティアさん

通学路や校門のちかくで、みんなが安全に学校に通えるよう見守ってくれています。緑のベストや腕章が目印だよ。

「こども見守り中」の旗

みんなを見守ってくれている人が、街中にいることを知らせてくれています。たくさんの人に旗を掲示してもらえたら、地域の安全安心にもつながるね。

自分だけの安全マップを作ろう！

- 通学路
- △ 危険箇所 (交通安全・防犯・防災の観点)
- ★ セーフティボランティアさんのいるところ



1 交通安全

登校時、自転車、バイク、車の交通量が多いため、歩行の時に注意が必要。

ぐん げ しょう がっ こう

郡家小学校

自分の通る道を
なぞってみよう！

高槻市 はにたん

6 防犯

三島高校の脇道。街灯も少なく、日が暮れると暗い。人通りも少ないので、一人で通行するには注意が必要。

7 交通安全

車や自転車がスピードを出して通るため、横断歩道を歩く際、注意が必要。

8 交通安全

登校時の車、自転車の交通量が多い。

9 防犯

駐輪場のある空き地だが、人がなく、背の高い草が生い茂っており周辺道路から見えない。たまに小学生が遊んでいるが、人目につかない場所なので注意が必要。

10 交通安全

川沿いを北上する際、カーブの先が見えにくい。車の通り抜けがあり注意が必要。



2 交通安全

常時、車の交通量が多く、学校前の南北の道につながる交差点となっているため、朝は車の通行に制限があるものの、下校時は車の往來の中を歩くこととなり注意が必要。

3 防災

元々道路がせまいところで、ぶつからないように歩いて登下校。雨天時は足元が川のようになり、注意が必要。

4 交通安全

道幅がせまく歩道がない箇所が多い。車の交通量が多く危険。小学生の自転車での往來もあるため注意が必要。

5 防災

雨が降ると洪水の危険性がある。大きめの水路だが柵がなく、水かさが増すと流れが速くなり注意が必要。

水路や池には立ち入らない！
川に行くときは大人と一緒にこうね

X	交番
〒	郵便局
.....	幹線通学路

地震発生時の避難場所 ()